

令和5年度  
10月号

吉川つばさ  
保育園

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。新年度が始まってから、早半年・・・あっという間にもう10月ですね。今年の夏は手足口病の感染が多くみられましたが、発熱する子はほとんどおらず、手足と口腔内に発疹を認める子が多かったです。早めのお迎えや病院受診にご協力いただきありがとうございました。9月になり季節外れのインフルエンザやコロナウイルスの流行も TV やニュースで聞かれることも増えました。暑さの疲れからか、急な発熱でお休みする子も増えています。ゆっくりと休息を図り体調の変化に気をつけてください。朝晩と日中の気温差が大きくなってくる時期にもなりなすし、衣替えの時期にもなるので、洋服で調整ができるように準備をお願いします。



季節の変わり目は咳や鼻水などの風邪をひきやすくなってきます。保育園は乳幼児が長時間集団で生活をする場であり体調が完全に回復するまでは、自宅での保育にご協力よろしくをお願いします。

### 発熱

- \* 24 時間以内に 38℃以上の熱がでた場合や、又は解熱剤を使用している場合。
- \* 朝から 37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合。

### 下痢

- \* 24 時間以内に複数回の水様便がある場合
- \* 食事や水分を摂るとその刺激で下痢をしてしまう場合
- \* 下痢と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合
- \* 朝に排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合



### 嘔吐

- \* 24 時間以内に複数回の嘔吐がある場合
- \* 嘔吐と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合
- \* 食欲がない、水分も欲しがらない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合



### 咳

- \* 夜間しばしば咳のために起きる、ゼイゼイ音・ヒューヒュー音などの呼吸困難がある場合
- \* 呼吸が速い、少し動いただけで咳が出るなどの症状がみられる場合

## 発しん

- \*発熱とともに発しんのある場合
- \*感染症による発しんが疑われ、医師より登園を控えるよう指示された場合
- \*口内炎がひどく食事や水分が摂れない場合
- \*発しんが顔面等にあり、患部を覆えない場合
- \*浸出液が多く他児への感染のおそれがある場合
- \*かゆみが強く手で患部を掻いてしまう場合



◎園で感染症が認められている時、お子さまの症状が感染症の症状に当てはまるときには、園内での蔓延を予防する観点から「保育所における感染症対策ガイドライン」に沿って、お迎えやお休みをお願いすることになりますのでご協力をお願いします。



### 子どもの視力

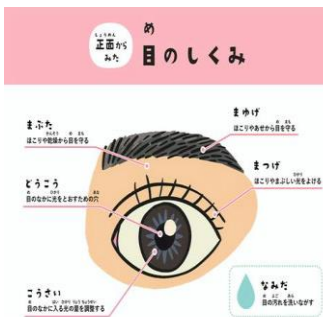
生後間もない乳児はほとんど視力はなく、3カ月で 0.01 程度、3歳で 0.8 前後、6歳で 1.0 まで視力ができます。視力機能の発達は6歳から遅くても8歳までには確定するそうです。

こんな見方をするときは注意しましょう！

- ・TV や絵本を近づいてみる
- ・顔を傾けてみる
- ・目を細めてみる
- ・まぶしがる
- ・片目でみる
- ・まぶたが下がっている

\*斜視や弱視の可能性が考えられます。

つばめ組の就学児検診にむけて、視力検査の練習を始めました。最初は慣れてもらうために両目で◎どっちがあいているかをやり、それから片目ずつ検査を進めています。



◎インフルエンザワクチン接種のシーズンになりました。

今年はずでにインフルエンザが流行している状況です。子どもの場合は 1 シーズン2回接種が標準です。接種してから 2 週間以上たたないと予防接種の効果が現れないので、接種する場合は計画を立てて接種するようにしましょう。



◎ホクナリンテープの使用について・・・

咳症状でホクナリンテープを使用している子が増えてきています。ホクナリンテープを使用するときは、必ずホクナリンテープに**園児の名前を記入し、貼付していることを職員にお伝えください。**

ご協力をお願いします。



